



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

N o 11

令和5年7月11日

1年食育 『きゅうしょくができるまでをしよう』

7月4日（火）の3，4限に，1年生が北川栄養教諭と担任から食育の授業を受けました。毎日食べている給食は誰がどこで作っているのか，若松小では何人分の給食を何人の調理員さんが作っているのか等をクイズ形式で確認しました。また，給食室で使っている大きなへらと身長を比べたりして，給食への関心を高めました。さらに，給食を作っているビデオを見て，多くの給食を作る調理員さんの工夫や大変さに気づき，今日から給食で自分が「がんばれそうなこと」を考え，発表しました。



『読み聞かせ』をしていただきました！



7月4日（火）の朝8時25分より，1年生から5年生の各教室で，9名のボランティアの方が来校して，読み聞かせをしていただきました。昨年度は，新型コロナウイルス感染症予防のためにほとんど読み聞かせの機会が持てませんでした。今もまだ油断はできませんが，子どもたちや職員，ボランティアの方からのお声もいただいて，再開することとしました。久しぶりの読み聞かせに子どもたちは画面を見ながら，熱心に耳を傾けていました。1学期は，あと1回18日（火）に，その後は，原則，毎月2回，第1と第3火曜日に読み聞かせに来ていただきます。子どもたちもとても楽しみにしています。どうかよろしくお願いします。



5年生 出前授業 「大黒屋光太夫」



7月7日(金)6限目、5年生が鈴鹿市文化課の代田さん、大黒屋光太夫顕彰会の西城会長を迎えて、大黒屋光太夫の学習を行いました。はじめに、西城会長から、自治会から寄贈いただいた和太鼓で光太夫太鼓をさらに盛り上げてほしいと激励の言葉をいただきました。代田さんからは、光太夫のたどった軌跡や功績についてくわしく

説明していただき、光太夫が大切に伝えたかったこととして「仲間を思いやり助け合う」「良い方法を見つけて工夫を続ける」「つらい時でも希望を捨てない」「だれかを頼る」の4つを挙げられました。子どもたちも真剣に聞き入っていました。お二人のお話は、困難にくじけず自分の意志を貫いた光太夫の生き方をこれから光太夫太鼓の演奏につなげていく5年生にとって、よい動機づけとなりました。大黒屋光太夫顕彰会の皆さんには、太鼓の保全・修理をはじめ、小学校音楽会での太鼓の運搬などしっかり支えていただいています。また、計画的に和太鼓の寄贈もしていただき、子どもたちの活動が充実しています。5年生の皆さん、伝統を引き継ぐ自覚と責任をもち、周りの方への感謝の気持ちを忘れず、全力でがんばってください。



校内適応指導教室『ほっとルーム』のお知らせ

7月3日(月)から若松小学校に校内適応教室『ほっとルーム』が開設されています。これまで市内の一部の小中学校では、校内に適応指導教室が設置されている学校がすでにありましたが、今回新たに本校にも設置していただきました。

さまざまな原因で学校へ登校しづらい児童の中で、「教室へは入れないが、『ほっとルーム』なら登校できる」児童や個別の支援が必要で支援ファイルを持っている児童を対象に、保護者の方と面談等をしたうえで通室が可能となります。現在、9月からの本格的な開設にむけて、環境整備やルール作りを早急に行っています。

また、スタッフは、『ほっとルーム』指導員の森本を中心に担当します。校舎2階の多目的教室で、原則月曜日から金曜日の午前9時30分から午後2時までの時間を開設する予定です。

詳細につきましては、各クラスの担任を通じてお問い合わせください。